

2015年12月24日発行



やったあ！ぎりぎりセーフ！楽しかった！
ありがとうございました。^^;

2015年12月13日、寺町通り商店街、サンタの行進。きっと、ずっと忘れないと思います。目標の100人にはとどきませんでしたけれど、68人のみんなが、サンタの格好で歩きました。ありがとうございました。^^;

伊藤桑名市長、佐藤寺町通り商店街振興組合長、小笠原きらきら基金代表の3人を先頭に、かわいいサンタや貫禄のサンタ、よちよちサンタ、わいわいサンタ、高校生サンタ、すてきなサンタが、みんなにこにこしながら、ゆっくりゆっくり寺町通りを北に進みました。三八市でほどよい人出の商店街を、きらきら金やNPO月間のぼりをたくさんかかげてだらだら長く進む様子は、ぱっと見100人以上いるような錯覚に陥るほど。商店街の皆さんもにこやかに受け入れてもらいました。大満足。^^;

北口にある広場にみんな集合し、先頭を歩いていただいた3人のご挨拶の後、こども達にはいなべおもちゃ病院さんからのプレゼント、他の参加者にはこども応援ネットワーク桑名さんから、金星堂さんの端材を活用した「筆立てキット」が配られました。

そこで自由解散、みんなうれしく楽しく、でもひとりで歩くのはやっぱり気恥ずかしいので、何人かでそぞろ歩きし、三八市で買い物したりして、桑名市総合福祉会館まで戻りました。いなべ更生保護女性会のみなさんがつくってくれた豚汁とおにぎりをいただき、自分が着たサンタの衣装も持ち帰ってもらって終了しました。ありがとうございました。

おおよそ40名の方から、市民活動支援のご寄附もいただきました。商店街で募金箱に入れてくれる方もありがとうございました。こんなことを言ってくれた方がいました。「たったひとりのサンタさんにまかせるのではなく、たくさんの人たちがプレゼントをあげるサンタさんになれる。プレゼントを届ける側になれる。すごくいい。」^^;

午後からは、桑名市総合福祉会館で、第6回の市民活動応援☆きらきら基金の助成事業を行いました。

冒頭、小笠原代表と、松本吉尊三重県環境生活部男女共同参画・NPO課NPO班長のご挨拶をいただきました。サンタの行進の際にいただいたご寄附も含め、当日までに35の募金箱で合計120,000円ほどをいただきました。ありがとうございました。募金いただいた方たちを代表して、東員ふらわあ〜びれっじ運営協議会の伊藤公一さんに感謝状をもらっていただきました。

100名ほどの皆様にご参加いただき、支えていただきました。ほんとうにありがとうございました。



みなさんの前ではじめてプレゼンされる方たちもいるが、運営委員会を含む 10 団体のみなさまに前に出ていただけていただきました。毎年のことですが真摯な態度でやってきました。

ご来場いただいた皆様から 100 円単位で合計 87,200 円いただきました。ありがとうございました。その獲得寄附金額にいただいた 150,000 円のご寄附を按分し、10 団体にさせていただきます。みなさま、ほんとうにありがとうございます。

園芸福祉ボランティア「フラワー」25,000 円、あ〜ちゃんのもて 38,400 円、諸戸徳成邸の保存・活用を考える会 24,600 円、特定非営利活動法人 桑竹会 22,000 円、特定非営利活動法人 桑名失語症渡しの会 26,800 円、特定非営利活動法人 ネットワークくわっこ 21,900 円、多度ボランティア連絡協議会 15,700 円、特定非営利活動法人 シー・ドリーム 桑ぱん 29,400 円、いなべわらべうたサークルあかまんま 24,700 円、市民活動応援☆きらきら基金運営委員会 8,700 円（按分なし）

奇附投票終了後、東員町長水谷俊郎さん、三重県環境生活部男女共同参画・NPO 課 NPO 班長の松本吉尊さんをはじめ、この地域の社会貢献活動に関わるいろいろな立場の人たちが集まって、第6回の「桑名員弁地域円卓会議」を開催しました。

今回のテーマは「企業の社会貢献活動」についてです。最初に 5 分ほど、服部が話題提供させていただき、それをふまえて意見交換を行いました。「この地域の企業の社会貢献活動や市民の社会貢献活動を、外に発信してこの地域の魅力をアップしよう」ということと、「企業と市民の社会貢献活動が、ウィンウィンで連携できることを進めていくには」ということについて話し合いました。

市民活動団体は、もっと自分たちことを語り、企業はもう一步踏み出してよりオープンに活動し、市民活動センターや社協はその間を取り持つ。それらをひとつひとついねいにやっていき、また、その情報を発信して多くの人たちに知ってもらうことで、地域全体の魅力をアップしていくという話しになりました。

来年 2 月 20 日(土)には、多度公民館で企業の社会貢献活動のアピールと、パートナーシップ助成とを行うので、今回の円卓会議で話し合った成果を実際に形で見ってもらうこととなります。

桑名員弁地域円卓会議の出席者は以下のとおりです

東員町長 水谷俊郎さん/三重県男女共同参画・NPO 課 NPO 班長 松本吉尊さん/(株)アサプリホールディングス 代表取締役社長 松岡祐司さん/(株)三五三重 杉山悦郎さん/桑名商工会議所 常議員 小笠原まき子さん/桑名市市民協働課 課長 和田克正さん/いなべ市市民活動センター センター長 辻久好さん/東員町町民課 平林賢樹さん/東員町市民活動センター 運営委員会 委員長 伊藤公一さん/桑名市社会福祉協議会 次長 竹内茂さん/いなべこども活動支援センター 理事長 木下裕美子さん/生ごみリサイクル思考の会 理事長 川島浩さん/みえきた市民活動センター 理事長 服部則仁さん



この後、13団体のみなさまに前に出ていただき、きらきら基金の助成を受けての報告や、活動のアピールなどをしていただきました。いずれの団体の方も、真摯に、そして活動を具体的にお話しいただきました。きらきら基金として募金活動をし、そのご寄附と応援とを、助成という形でもらっていて本当によかったなと思いました。ありがとうございました。

地域お助けネット、大安町おはなしの会 くまのこ、いなべの里山を守る会、わくわくボランティア、東員点訳友の会、ボランティアサークルわかば、南金井地域サロン 宮美会、地域の茶の間「ひまわり」、いなべ市在宅介護者家族の会「だいふくの会」、桑名歴史案内人の会、北勢線の魅力を探る会、エンパワメントみえ、いなべこども活動支援センター

最後に、助成金を10団体の皆様にもらっていただくと共に、いなべ市在宅介護者家族の会「だいふくの会」の池田秀夫さんのこれまでのご活躍に感謝し、特別賞を受けていただきました。また、桑名西高校、いなべ総合学園高校、桑名北高校からボランティア参加いただいた高校生の方たちにも感謝状をもらっていただきました。ありがとうございました。



さて、「サンタの行進」という、この時期としてはタイムリーな企画だったせいか、今回の事業はたくさんのメディアにとり上げていただきました。ありがとうございました。

当日の夜には FM 三重さんがニュースを流していただけたようですし、翌日の夕方は三重テレビさんのニュースで取り上げてもらえたようです。また、翌々日の伊勢新聞さんでは大きな見出しで伝えていただき、朝日新聞さんもカラー写真で記事を書いていただきました。また、三重テレビさんでは、12月18日夜の「県政チャンネル〜輝け！三重人〜「現場に聞こう！」」の中で、行進の様子などを放送していただきました。放送終了後は、下記アドレスでいつでも見られるそうです。<http://www.pref.mie.lg.jp/MOVIE/list.asp?cate1=15>。また、Kuwanavi My さんも、記者の大橋さんがおいででしたので、きっと次号で掲載いただけると思います。

ということで、まだまだ知名度の足りない、桑名員弁の身近な市民活動を応援する、市民活動応援☆きらきら基金としては、たくさんのメディアに取り上げていただき、とてもうれしい結果になりました。ありがとうございました。

今回、地力が足りないことは100も承知で、皆様の力添えを頼りに、あえて、サンタの行進と助成事業とを1日にかぶせて行いました。少しでも多くの人たちに応援の気持ちを届けたい。そのために、少しでも地元の人たちに知ってほしいと、無理をしました。てきめんその無理が現れて、さまざまところで少しずつ行き届かないことがありました。せっかく盛り上げてやろうとおいでいただいた皆さんにも、不愉快な思いをさせたかもしれないません。



そんなことがあったとしたら、どうぞご容赦ください。そして、今回もまたご参加、ご協力、本当にありがとうございました。まだまだ私たち市民活動の世界は、実はあまり認められてないのかもしれませんが、でも、だからこそ、力を併せて、前に出ていく必要があると思っています。それが、この地域のくらしやすさを支え、地域の魅力を生みだし、自身も楽しく過ごしていけるとしています。

これからも、みなさまのお力添えを、どうかよろしく願いいたします。ありがとうございました。

郷土史家 西羽晃氏の歴史寄稿

幕末・維新の桑名藩シリーズ 48

立見尚文(たつみ なおふみ)と加太邦憲(かぶと くにのり)について

前々回書きました遠藤、前回書きました小沢とは違って、明治政府の中で活躍した人物も居ります。その代表は軍人の立見尚文と文官の加太邦憲です。立見は弘化2(1845)年江戸八丁堀の桑名藩上屋敷で生まれました。戊辰戦争の時に桑名軍の指導者として、敵の新政府軍から恐れられた人物です。廃藩置県後は裁判所に勤めました。明治10(1877)年、西郷隆盛が挙兵するや、明治政府は立見を呼び寄せ、陸軍少佐として参戦させました。その後は陸軍で活躍し、27年には日清戦争で少将として朝鮮半島へ出陣し、この時の功績で男爵を授けられました。その後台湾総督府の軍務局長となり、30年には第八師団(弘前)の師団長となりました。弘前では寒さに強い軍隊を育てました。

明治37年の日露戦争では、寒さの中で日本軍は苦戦しました。そのため、立見の率いる弘前の師団が中国東北部へ派遣されました。ここでの立見の活躍で日本軍は勝利を収めることが出来ました。この功績で陸軍大将となりました。戊辰戦争で相手として戦った長州閥の陸軍のなかで、反長州出身の立場では異例のことで、藩閥に頼らずに実力で高い地位を得たのでした。参戦の際に凍傷を受けて、40年3月6日に東京で亡くなりました。葬儀には天皇から供花料が寄せられ、長州出身の山県元帥や薩摩出身の大山元帥が参列し、深々と頭をさげました。正三位勲一等功二級を授けられました。

加太邦憲は嘉永2(1849)年に桑名外堀で生まれました。桑名藩校の立教館で漢学を学びました。戊辰戦争の時は直接戦闘に参加せず、桑名城明け渡しの後は本統寺に收容されました。その時に前回書きました小沢から英文を見せられ、これからは英語の時代だと教えられました。その後立教館が再開され、彼は漢学の先生となりましたが、桑名藩では西洋の学問を認めなかったため、反発して上京しました。最初は軍人になるつもりで、大学南校(現東京大学の前身の一つ)でフランス語を学びましたが、身体が弱くて軍人をあきらめ、司法省明法寮学校(現在の東京大学の前身の一つ)でフランスの法律を学び、明治9(1876)年に卒業し、日本最初の法学士の一人となりました。当時の日本はフランスの民法が主流であり、彼も民法学者として歩みました。

19年3月から23年7月までヨーロッパへ留学し、司法行政および裁判事務の調査に当たりました。帰国後は大津・京都・東京地方裁判所の所長を勤め、21年6月大阪控訴院(現大阪高等裁判所)長を勤めましたが、病弱のため28年に退職しました。その後健康は回復しましたが、復職せず44年に退職しています。その前の43年には貴族院議員に選ばれました。そして旧桑名藩主の松平家の御用掛りを勤めたり、政府の維新史料編さん会委員にもなっています。昭和4(1929)年12月4日に東京で亡くなりました。没後に追贈があり従三位勲二等となっています。生前から自分史を書いており、没後に息子の重邦の手によって『加太邦憲自歴譜』として出版され、現在は岩波文庫で『自歴譜』として出版されています。

参考文献 「陸軍大将男爵立見尚文特指叙位ノ件」他

(国立公文書館 アジア歴史資料センター所蔵)

『立見大将伝』(佐治為善編 1928年)

『闘将伝 小説立見鑑三郎』(中村彰彦 1994年)

「故退職判事加太邦憲位階追陞ノ件」

(国立公文書館 アジア歴史資料センター所蔵)

『加太邦憲自歴譜』(加太邦憲遺著 加太重邦発行 1931年)

発行元 (特)みえきた市民活動センター 事務局 〒511-0088 桑名市南魚町86 めがね工房ごうじ内

Tel 0594-27-2700 Fax 0594-27-2733 E-mail miekita@mie-kita.gr.jp <http://mie-kita.gr.jp>